|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ﾃｽﾄｹｰｽNO | テスト内容 | 確認内容 | 確認日 | OK/NG | 備　考 |
| 前提条件 | 境界値試験の加入者情報・料金情報のパターンについては、「バッチ\_テスト結果.xlsx」の「前提条件Sheet」を参照。 | | | | |
| 1 | コマンドライン引数が「YYYYMM」の状態でバッチを起動する。 (バッチ稼働対象年月の請求ステータスの確定が未確定の場合) | バッチが正常終了すること。 |  |  |  |
| 2 |  | DBの請求データ状況に請求ステータスが正しく作成されていること。 |  |  |  |
| 3 |  | DBの請求データ状況.請求年月がバッチ稼働対象年月と一致していること。 |  |  |  |
| 4 |  | DBの請求データ状況.確定がFALSEで作成されていること。 |  |  |  |
| 5 |  | DBの請求データに請求データが正しく作成されていること。 |  |  |  |
| 6 |  | DBの請求データ.請求年月がバッチ稼働対象年月と一致していること。 |  |  |  |
| 7 |  | DBの請求データ.加入者IDにバッチ稼働対象年月の有効な加入者の加入者IDが登録されていること。 |  |  |  |
| 8 |  | DBの請求データ.メールアドレスにバッチ稼働対象年月の有効な加入者のメールアドレスが登録されていること。 |  |  |  |
| 9 |  | DBの請求データ.氏名にバッチ稼働対象年月の有効な加入者の氏名が登録されていること。 |  |  |  |
| 10 |  | DBの請求データ.住所にバッチ稼働対象年月の有効な加入者の住所が登録されていること。 |  |  |  |
| 11 |  | DBの請求データ.加入日にバッチ稼働対象年月の有効な加入者の加入日が登録されていること。 |  |  |  |
| 12 |  | DBの請求データ.解約日にバッチ稼働対象年月の有効な加入者の解約日が登録されていること。 |  |  |  |
| 13 |  | DBの請求データ.決済方法にバッチ稼働対象年月の有効な加入者の決済方法が登録されていること。 |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 14 |  | DBの請求データ.請求金額にバッチ稼働対象年月の有効な料金情報の月額金額の合計が登録されていること。 |  |  |  |
| 15 |  | DBの請求データ.消費税率に0.1が登録されていること。 |  |  |  |
| 16 |  | DBの請求明細データに請求明細データが正しく作成されていること。 |  |  |  |
| 17 |  | DBの請求明細データ.請求年月がバッチ稼働対象年月と一致していること。 |  |  |  |
| 18 |  | DBの請求明細データ.加入者IDにバッチ稼働対象年月の有効な加入者の加入者IDが登録されていること。 |  |  |  |
| 19 |  | DBの請求明細データ.料金IDにバッチ稼働対象年月の有効な料金情報の料金IDが登録されていること。 |  |  |  |
| 20 |  | DBの請求明細データ.料金名にバッチ稼働対象年月の有効な料金情報の料金名が登録されていること。 |  |  |  |
| 21 |  | DBの請求明細データ.月額料金にバッチ稼働対象年月の有効な料金情報の料金名が登録されていること。 |  |  |  |
| 22 |  | DBの請求明細データ.適用開始日にバッチ稼働対象年月の有効な料金情報の適用開始日が登録されていること。 |  |  |  |
| 23 |  | DBの請求明細データ.適用終了日にバッチ稼働対象年月の有効な料金情報の適用終了日が登録されていること。 |  |  |  |
| 24 | バッチ実行後に加入者情報のパターン1のレコード状況をDBで確認する。 (バッチ稼働対象年月：2023年8月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在しないこと。 |  |  |  |
| 25 | バッチ実行後に加入者情報のパターン2のレコード状況をDBで確認する。  (バッチ稼働対象年月：2023年8月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在していること。 |  |  |  |
| 26 | バッチ実行後に加入者情報のパターン3のレコード状況をDBで確認する。  (バッチ稼働対象年月：2023年8月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在していること。 |  |  |  |
| 27 | バッチ実行後に加入者情報のパターン4のレコード状況をDBで確認する。  (バッチ稼働対象年月：2023年8月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在していること。 |  |  |  |
| 28 | バッチ実行後に加入者情報のパターン5のレコード状況をDBで確認する。  (バッチ稼働対象年月：2023年8月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在しないこと。 |  |  |  |
| 29 | バッチ実行後に加入者情報のパターン6のレコード状況をDBで確認する。  (バッチ稼働対象年月：2023年8月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在していること。 |  |  |  |
| 30 | バッチ実行後に料金情報のパターン1のレコード状況をDBで確認する。 (バッチ稼働対象年月：2023年8月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在しないこと。 |  |  |  |
| 31 | バッチ実行後に料金情報のパターン2のレコード状況をDBで確認する。  (バッチ稼働対象年月：2023年8月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在していること。 |  |  |  |
| 32 | バッチ実行後に料金情報のパターン3のレコード状況をDBで確認する。  (バッチ稼働対象年月：2023年8月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在していること。 |  |  |  |
| 33 | バッチ実行後に料金情報のパターン4のレコード状況をDBで確認する。  (バッチ稼働対象年月：2023年8月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在していること。 |  |  |  |
| 34 | バッチ実行後に料金情報のパターン5のレコード状況をDBで確認する。  (バッチ稼働対象年月：2023年8月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在しないこと。 |  |  |  |
| 35 | バッチ実行後に料金情報のパターン6のレコード状況をDBで確認する。  (バッチ稼働対象年月：2023年8月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在していること。 |  |  |  |
| 36 | バッチ実行後に加入者情報のパターン1のレコード状況をDBで確認する。 (バッチ稼働対象年月：2023年11月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在しないこと。 |  |  |  |
| 37 | バッチ実行後に加入者情報のパターン2のレコード状況をDBで確認する。  (バッチ稼働対象年月：2023年11月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在していること。 |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 38 | バッチ実行後に加入者情報のパターン3のレコード状況をDBで確認する。  (バッチ稼働対象年月：2023年11月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在していること。 |  |  |  |
| 39 | バッチ実行後に加入者情報のパターン4のレコード状況をDBで確認する。  (バッチ稼働対象年月：2023年11月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在していること。 |  |  |  |
| 40 | バッチ実行後に加入者情報のパターン5のレコード状況をDBで確認する。  (バッチ稼働対象年月：2023年11月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在しないこと。 |  |  |  |
| 41 | バッチ実行後に加入者情報のパターン6のレコード状況をDBで確認する。  (バッチ稼働対象年月：2023年11月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在していること。 |  |  |  |
| 42 | バッチ実行後に料金情報のパターン1のレコード状況をDBで確認する。 (バッチ稼働対象年月：2023年11月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在しないこと。 |  |  |  |
| 43 | バッチ実行後に料金情報のパターン2のレコード状況をDBで確認する。  (バッチ稼働対象年月：2023年11月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在していること。 |  |  |  |
| 44 | バッチ実行後に料金情報のパターン3のレコード状況をDBで確認する。  (バッチ稼働対象年月：2023年11月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在していること。 |  |  |  |
| 45 | バッチ実行後に料金情報のパターン4のレコード状況をDBで確認する。  (バッチ稼働対象年月：2023年11月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在していること。 |  |  |  |
| 46 | バッチ実行後に料金情報のパターン5のレコード状況をDBで確認する。  (バッチ稼働対象年月：2023年11月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在しないこと。 |  |  |  |
| 47 | バッチ実行後に料金情報のパターン6のレコード状況をDBで確認する。  (バッチ稼働対象年月：2024年2月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在していること。 |  |  |  |
| 48 | バッチ実行後に加入者情報のパターン1のレコード状況をDBで確認する。 (バッチ稼働対象年月：2024年2月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在しないこと。 |  |  |  |
| 49 | バッチ実行後に加入者情報のパターン2のレコード状況をDBで確認する。  (バッチ稼働対象年月：2024年2月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在していること。 |  |  |  |
| 50 | バッチ実行後に加入者情報のパターン3のレコード状況をDBで確認する。  (バッチ稼働対象年月：2024年2月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在していること。 |  |  |  |
| 51 | バッチ実行後に加入者情報のパターン4のレコード状況をDBで確認する。  (バッチ稼働対象年月：2024年2月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在していること。 |  |  |  |
| 52 | バッチ実行後に加入者情報のパターン5のレコード状況をDBで確認する。  (バッチ稼働対象年月：2024年2月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在しないこと。 |  |  |  |
| 53 | バッチ実行後に加入者情報のパターン6のレコード状況をDBで確認する。  (バッチ稼働対象年月：2024年2月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在していること。 |  |  |  |
| 54 | バッチ実行後に料金情報のパターン1のレコード状況をDBで確認する。 (バッチ稼働対象年月：2024年2月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在しないこと。 |  |  |  |
| 55 | バッチ実行後に料金情報のパターン2のレコード状況をDBで確認する。  (バッチ稼働対象年月：2024年2月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在していること。 |  |  |  |
| 56 | バッチ実行後に料金情報のパターン3のレコード状況をDBで確認する。  (バッチ稼働対象年月：2024年2月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在していること。 |  |  |  |
| 57 | バッチ実行後に料金情報のパターン4のレコード状況をDBで確認する。  (バッチ稼働対象年月：2024年2月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在していること。 |  |  |  |
| 58 | バッチ実行後に料金情報のパターン5のレコード状況をDBで確認する。  (バッチ稼働対象年月：2024年2月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在しないこと。 |  |  |  |
| 59 | バッチ実行後に料金情報のパターン6のレコード状況をDBで確認する。  (バッチ稼働対象年月：2024年2月で実施) | 請求データ・請求明細データテーブルにデータが存在していること。 |  |  |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 60 | コマンドライン引数が「YYYYMM」の状態でバッチを起動する。 (バッチ稼働対象年月の請求ステータスの確定が未確定の場合) | ログの対象年月がコマンドライン引数に入力した年月と一致すること。 |  |  |  |
| 61 |  | ログの請求ステータスの追加件数が請求ステータスに追加されたレコード数と一致すること。 |  |  |  |
| 62 |  | ログの請求データの追加件数が請求データに追加されたレコード数と一致すること。 |  |  |  |
| 63 |  | ログの請求明細データの追加件数が請求明細データに追加されたレコード数と一致すること。 |  |  |  |
| 64 | コマンドライン引数が「YYYYMM」の状態でバッチを起動する。 (バッチ稼働対象年月の請求ステータスの確定が確定済みの場合) | バッチが正常終了すること。 |  |  |  |
| 65 |  | 請求ステータスが作成されていないこと。 |  |  |  |
| 66 |  | 対象年月の請求ステータスのレコードがバッチ起動前のレコードの一致していること。 |  |  |  |
| 67 |  | 請求データが作成されていないこと。 |  |  |  |
| 68 |  | 対象年月の請求データのレコードがバッチ起動前のレコードの一致していること。 |  |  |  |
| 69 |  | 請求明細データが作成されていないこと。 |  |  |  |
| 70 |  | 対象年月の請求明細データのレコードがバッチ起動前のレコードの一致していること。 |  |  |  |
| 71 | コマンドライン引数が「YYYYMM」以外の状態でバッチを起動する。 | バッチが正常終了すること。 |  |  |  |
| 72 |  | 請求ステータスが作成されていないこと。 |  |  |  |
| 73 |  | 対象年月の請求ステータスのレコードがバッチ起動前のレコードの一致していること。 |  |  |  |
| 74 |  | 請求データが作成されていないこと。 |  |  |  |
| 75 |  | 対象年月の請求データのレコードがバッチ起動前のレコードの一致していること。 |  |  |  |
| 76 |  | 請求明細データが作成されていないこと。 |  |  |  |
| 77 |  | 対象年月の請求明細データのレコードがバッチ起動前のレコードの一致していること。 |  |  |  |
| 78 |  | ログに「コマンドライン引数の入力値が不正です。」と表示されること。 |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |